

2024 年度（第 33 回）日本マレーシア学会（JAMS）研究大会

日程：2025 年 1 月 26 日（日）

場所：京都大学稲盛財団記念館

〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46

【プログラム】

9:45 開場

10:00 開会挨拶 西芳実（大会準備委員長／京都大学）[会場：大会議室]

10:05-10:55 会員総会 [会場：大会議室]

11:00-12:00 個別研究発表（1）[会場：大会議室]

個別研究発表 1 山本博之（京都大学）

「第二次世界大戦後のマラヤ・シンガポールにおける日本人の抑留とその背景」

個別研究発表 2 安里陽子（岐阜工業高等専門学校）

「シンガポールにおけるパイン産業の発展と華人の役割—「パイン王」リム・ニースンを中心に」

12:00-13:00 昼休み

12:00-13:00 ポスターセッション・コアタイム [会場：小会議室]

ポスター 1 大嶋広美（広島大学）

「マラヤ時代の政府職員語学学校の設立背景と中国語方言テキスト」

ポスター 2 王雨芊（東京大学大学院）

「新型コロナ禍以後におけるマレーシア華人社会の変容に関する考察」

13:00-14:00 個別研究発表(2) [会場：大会議室]

個別研究発表 3 光成歩（津田塾大学）

「わかた改革、わたす改革—マレーシア結成前後期のシンガポールにおけるイスラム家族法改革」

個別研究発表 4 八木暢昭（京都大学大学院）

「マレーシアにおける経済操作と有権者の反応—ソーシャルメディアの言説と選挙結果を用いた投票行動に影響を及ぼす要因の解析」

14:10-16:10 シンポジウム「ポスト国民戦線（BN）体制のマレーシア―「多民族政党の政治」の葛藤」[会場：大会議室]

司会、趣旨説明 坪井祐司（名桜大学）

報告 1 伊賀司（名古屋大学）

「反体制運動から中核的与党へ―マレーシアの人民公正党(PKR)の制度化と政治変動」

報告 2 ジェイソン・イー・ジュンユエン（東京外国語大学大学院）

「民主行動党（DAP）の「多民族政党化」におけるジレンマ―マレー人の参加と代表の実態と変化」

報告 3 大室元（東京大学大学院）

「政治的転換期における中央地方関係―高揚するサラワクの地域主義を分析する」

コメント 篠崎香織（北九州市立大学）

ディスカッション

16:10-16:15 閉会挨拶 山本博之（JAMS 会長／京都大学）[会場：大会議室]

16:20-17:20 研究交流会 [会場：小会議室]

（会費無料、事前登録不要。飲食の提供なし（持ち込み可））